



中学生海外交流事業受入事業を行いました



国際理解教育を図ることを目的として、平成22年度からオーストラリア西オーストラリア州パースの「パース・モダン・スクール」と交流関係を結び、相互に学生を派遣する事業を行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響でしばらくこの事業を実施できずになりましたが、今年度、受入事業のみ実施することとなり、9月20日(金)から9月26日(木)までの日程で、パース・モダン・スクール生徒18名が福島中学校で学校生活を送り、生徒宅にホームステイをしました。

留学生は、通常授業への参加のほか特別授業として書道・茶道・華道などの日本文化を学んだり、放課後は部活動の体験も行ったりと充実した学校生活を送りました。

9月21日(土)は、アキシマエンシスにおいて交流イベントを開催しました。留学生とホストスチューデントが和太鼓の演奏や浴衣の着付け体験、郷土資料室で昭島の歴史などを学ぶなど、一緒に楽しい時間を過ごしました。

一週間と限られた期間でしたが、互いに他文化との交流に刺激を受け、国際理解の促進につながる貴重な経験となりました。



☆詳しくは、教育総務課庶務係へ(TEL042-544-4434)

GIGAスクール通信

本校では、「かがくのじゅうす」「やまがひとつ」を合言葉に、「授業」「学級会」「クラブ」等の多くの場面でタブレット端末を活用しています。授業では、子供たちに活用方法を伝えて、調べたり、まとめたり、伝えたりする際に、タブレット端末を活用します。係活動や学級会、クラブ活動などでは、話し合いの手助けツールとして活用しています。



【5年生 国語】

GoogleドキュメントやGoogleスライドで自分の考えをまとめます。相手に伝わりやすいまとめ方を学ぶことができました。



【クラブ活動】

キーボードを使わず、ブロックの順番を並び替えるだけで動作の結果が変わるのでその様子を見ながら試行錯誤してプログラムを組み立てています。

学校でのタブレット端末を活用した取組をご紹介します

★つじが丘小学校タブレット端末活用の取組★



【4年生 学級会】

本校では「子供同士」を大切にした話し合いをおこなっています。

Googleスプレッドシートに、学級会前に自分の意見を書きます。タブレット端末から先生に提出し、友達の考えもすぐに共有できます。